

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 9 月 19 日

作成者：(特非)九州バイオマスフォーラム

	【施設名称】 球磨焼酎粕リサイクル施設
	【事業主体】 球磨焼酎リサイクリーン株式会社
	【所在地】 熊本県人吉市中神町
	【運転開始年】 平成 16 年
原材料	焼酎粕
生産物（種類）	飼料、肥料、エタノール
利用方法	飼料、肥料は販売。 エタノールは施設内ボイラー燃料利用。
導入目的・経緯	人吉・球磨地域は、焼酎造りが盛んで、同地域の球磨焼酎酒造元 28 社から年間 2 万 6,000 t の焼酎かすが排出されており、その有効利用（エタノールや肥料原料などに分離）を図るため、球磨焼酎酒造元 26 社と関係 7 市町村で、第 3 セクターとして平成 15 年 4 月に設立。
設備仕様	固液分離設備、濃縮設備、エタノール回収設備、エタノールボイラー、乾燥設備、脱臭設備
稼働状況	1 日の稼働時間：24 時間 年間の稼働日数：365 日
経済性関連データ	初期投資額：約 6.8 億円（国庫補助：48%、日本酒造組合中央会助成金：28%、残り自己負担）
導入効果	海洋投棄は、1 t 当たり約 8,500 円の経費が必要であったが、リサイクル施設の酒造元負担(税別)は、5,000 円、搬入運搬費 1,100 円で処理されており、酒造元のコスト削減につながっている。
運営上の課題	経費削減
備考	